

## 研究内容の開示

東京歯科大学市川総合病院の倫理審査委員会が審査を行って承認し、同病院長が実施を許可した下記の研究について、研究の対象者に該当する可能性があって、診療の情報等を研究の目的で利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、ご協力いただけても患者さんに不利益は生じません。また、ご協力いただきましても謝礼はございません。

研究課題名	n-butyl-2-cyanoacrylate(NBCA)を用いた血管内治療の治療成績
研究責任者	放射線科 助教 野沢陽介
本研究の目的と意義	NBCA は我が国で幅広く、出血などに対する血管内治療で用いられる保険適応の塞栓物質です。しかしながら、低頻度ではありますが、カテーテルへの固着や誤塞栓の偶発症が生じています。そこで今回、当院で行われた NBCA を用いた血管内治療の治療成績を集積して、治療の実態や問題点を明らかにするための調査を行うこととしました。
研究の対象になる患者さん	2012/4/1 から 2023/12/31 までに胸腹部から四肢の範囲で出血、動脈瘤、動静脈瘻、動静脈奇形、脾腫に対して血管内治療で NBCA を使用された 20 歳以上の患者さん。
研究の方法	対象患者さんの過去の診療情報を用いて情報を収集し、治療経過や治療効果を解析します。収集したデータは本人を識別できる個人情報を削除し、個人を識別できなくした後に、統計による解析を行います。 国内外の医学関連学会での公表や医学雑誌への論文投稿を予定しています。  〔取得する情報〕 年齢、性別、既往歴、内服歴、診察時の状況、血液検査結果（末梢血検査、生化学検査の結果）、画像診断検査（血管造影、CT、X線写真）、血管内治療内容、使用した NBCA 濃度や量、術後経過
研究を行う期間	この研究の実施が認められてから 2026 年 12 月 31 日までです。
個人情報取り扱い	患者さん個人を特定できる診察券番号、氏名、生年月日は削除して、研究用の番号に変えて取り扱いをします（仮名加工情報といいます）。なお、患者さん個人を特定できる診察券番号、氏名、生年月日と研究用の番号を照合するための対照表を別に作成して、施錠可能な場所で厳重に保管します。
研究データの保管	2031 年 12 月までパスワードをかけた USB で院内の施錠可能な場所に保管します。その後、物理的に破壊して破棄します。
本研究の資金源	放射線科の研究費で行います。
企業などとの関係	この研究に企業や営利団体は関係していません。
お問い合わせ先	この研究に協力したくない場合や、研究についてさらにお知りになりたい場合は下記にご連絡ください。 東京歯科大学市川総合病院放射線科 野沢 陽介 047-322-0151 (代表)

備考	診療の情報等を研究の目的で利用されることを希望されないとお申し出いただいた場合に、ご留意いただきたいことがあります。研究がある程度進んで解析をはじめから、特定の患者さんの情報を除くことができないことがあります。その点についてあらかじめご承知ください。
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------